2

川越印刷株式会社

最適なICTツールの検討でテレワークの効果を最大化

DX	概要	目的・効果	導入プロセス	経営層の理解促進	労務管理等
ICTツール	情報セキュリティ	トライアル	既存取組の評価	BPR	その他

本社所在地：長野県
規　模　　：小規模（100名未満）
業　種　　：製造業
主たる事業：印刷業(オフセット印刷全般、オンデマンド出力サービス、デザイン・制作)

背景・目的

制作のテレワークはほぼ問題無く機能しているが、営業は全員が出社、事務は1週間交代で休業と勤務、印刷は3日間交代で休業と勤務等、部署別によるテレワークの導入にバラツキが生じている。またデータ管理に関しても、様々な要因から、データをクラウドではなく自社に置いておきたい等のせめぎ合いが社員各人において生じている。テレワークの実施に際し、良い落としどころ、選択肢、（データ別の）取捨選択等を検討したい。

支援の内容

- **テレワークに関わるICTツールの検討**

補助金を得て投資したいという意向はあるが、必ずしも有償の製品を使う必要はないとのことで、無償のツールを使いトライアルを進められる可能性について助言頂いた。Windows DTP※の遠隔操作について、Google Remote Desktopを試用することを推奨頂き、トライアルを行ってみて判断することとなった。

現在、法人用ネットバンキングの決済用に、商工会議所経由のプロバイダから取得した代表メールを使っているが、最低限、営業用や経理用等の目的別のアドレスが必要となる。これについて内部で検討する上で、Google workspaceを使うとどのようなイメージになるか、デモを交えて紹介頂いた。　（DTP：Desktop publishing、PCでデータを作成し、印刷物を作成すること）

- **業務改善に向けた検討**

業務改善を継続的に進める必要があり、それに関わるリピートオーダーと納品後のフィードバック情報の収集の重要性について検討した。お客様の声を拾い、社内で共有する重要性についても確認した。

支援を受けて

顧客や取引先から情報収集して社内で検討した対策に対し、それを裏付けてもらったり、より良く改善するための手法やツールに関する情報を得ることができたため、様々な経営判断としての決断がよりスピーディになり、且つ当社の「身の丈」に合った実行が可能になった。

また、徐々に改善・改革を進めて行く際に、或いは業務で課題が発生した際に、その都度相談に乗って頂き、業務プロセスの改善に繋がっている。事業承継から数年、旧来の仕事の仕組みなどに縛られていたことを鑑み、この改善・改革については、コロナ禍の影響と相まって劇的に変化を得られていると実感しており、大変感謝している。